

視野を広げて書くこと ワークシート 「情報を整理しよう」

記入例

一年 組 番

学習日 月 日

選んだ小説の展開を理解して、脚本化に適した場面を探そう

「少年の日の思い出」 ヘルマン・ヘッセ著 高橋健二訳

人称「**一** 人称」
 視点…第一部〔序章〕 () **わたし** () の視点で書かれている。
 第二部〔本章〕 () **僕(=客)** () の視点で書かれている。
 語り手に起きた出来事を中心に話の展開を理解して、脚本化に適した場面がどこかを考えてみよう。



第一部〔序章〕…

現在

(夕方、書齋で語り手(わたし)と客が語り合う場面)

場面	いつどこで 根拠となる 表現	登場人物 (語り手に)	出来事(語り手の行動)	視点となっている人物 (語り手)の心情
1	夕方 書齋 夕方の散歩 色あせた湖	客 わたし (わたしの末の男の子)	子どもや 幼い日の思い出 について話し合う。	
2	夜 書齋 ランブ	客 わたし	「 もう、けっしん。 」 ・チョウの収集を見ながら語り合う。 箱のふたを閉じた客の言葉	
3	夜 書齋 闇いちめに鳴く カエル	客 わたし	・客の告白(思い出話)が始まる。 客の告白 「子どものとき、チョウを収集していたのだが、自分でその思い出を けがしてしまっ た。」	

第二部〔本章〕…

過去(回想)

(客が語った少年時代の思い出の場面)

1	2
十歳くらい	あるとき 青いコムラサキを 捕らえた
僕	僕
<ul style="list-style-type: none"> ・チョウ集めを始めた。 ・チョウ集めのほかのことはすっかりすっぱかしてしまっ。 ・朝早くから夜まで、食事になんか帰らないで、たびたび駆け歩。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中庭の向こうに住んでいる先生の息子(「エーミール」)にだけ見せようとする。 ・捕らえた珍しい青いコムラサキをこっぴどく批評される。
特別熱心でもなかった。 この遊技の とりこ 熱情 うつとりした感じ 緊張と歓喜 ねたみ、嘆賞しながら 憎んでいた 得意のあまり 自分の獲物に対する喜びは かなり傷つけられた。	

3 二年後 うわさを 聞いた日	4 二年後 うわさを 聞いた日 エーミ ルの部屋	5 二年後 うわさを 聞いた日 エーミ ルの部屋	6 二年後 うわさを 聞いた日 夕方 夜 エーミ ルの家	7 二年後 うわさを 聞いた日 夜 エーミ ルの家 選んだ場面を赤 ペンなどで囲ま せる。	8 二年後 うわさを 聞いた日 夜 自宅 自分 の部 屋
(僕)	(僕)	(僕)	(僕) 母 エーミ ル	(僕) エーミ ル	(僕) (母)
<ul style="list-style-type: none"> ・エーミルがクジャクヤママユをさなぎからかえしたといううわさを聞く。 ・エーミルの部屋に行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生まれて初めて 盗み を犯した。 ・だれかが階段を上がってくるのが聞こえた瞬間 ・チョウを 上着のポケットに突っ込んだ。 ・急いで引き返し、チョウを机の上に返したが、 	<ul style="list-style-type: none"> ・家へ帰って夕方まで自分の家の小さい庭の中で腰掛けていた。 ・母に一切を打ち明ける。 ・母に言われてエーミルの家へ行く。 ・エーミルに、自分がやったことを告白し、詳しく話し、説明しようとする。 ・エーミルに謝罪する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エーミルの言動 	<ul style="list-style-type: none"> ・僕は、一度起きたことは、もう償いのできなないもの ・エーミルの家を立ち去る。 ・自分が集めたチョウを、指で粉々に押しつぶしてしまっ。 <p>ただ僕を眺めて、 軽蔑していた。</p> <p>低く、ちえっと舌を鳴らす。</p> <p>そうか、そうか、つまりは君はそんなやつなんだな</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事件や大きな出来事が起こっている。 ・登場人物が複数出てくる。 ・登場人物のセリフや行動描写、心情描写の量が多い。
すっかり 興奮 してしまった。	僕の良い心が目覚めた。 大きな満足感。 を感じてしまっ。 逆らいがたい欲望	僕の心を苦しめた。 恐ろしい 不安 盗みをしたこと よりも つぶれてしまった チョウを見ている ほうが	僕は出かける気になれなかった。	その瞬間、僕はすんでのところであいつのどぶえに飛びかかるどころだった。	あてはまる場面はどこだろっ？ 赤ペンで囲もっ。

脚本化に適した場面を探すポイント

事件や大きな出来事が起こっている。
登場人物が複数出てくる。
登場人物のセリフや行動描写、心情描写の量が多い。

あてはまる場面はどこだろっ？
赤ペンで囲もっ。